



あけましておめでとうございます！

あけましておめでとうございます。生徒、保護者の皆様ともに、輝かしく希望に満ちた2017年（酉年）を迎えられたことと思います。穏やかな正月を送ることができ、今年1年間、皆様にとって平穏な日々が続くようご祈念申し上げます。

生徒達は、18日間の冬休みも大きな事故なく終了し、心新たに第3学期のスタートを切ることができました。保護者の皆様には、今年一年間、昨年以上の学校教育へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆ 第3学期がスタート！ ◆

10日（火）の1校時目に、第3学期始業式を行いました。全校生が真剣な態度で式に臨み、3学期への意欲が感じられる中でスタートを切ることができました。



3学期は、1、2年生は52日間、3年生は45日間であり、「1月は行ってしまう月」「2月は逃げていく月」「3月は去っていく月」と言われているように、あっという間に過ぎてしまいます。

時間を無駄にすることなく、大切に使いしていきたいものです。



◆◆ソフトテニス男子が全国大会出場◆◆

冬休み中に行われたルーセントカップ東北中学校ソフトテニスインドア大会男子団体で、本校が3位に入賞し、全国ミズノカップジュニア選抜ソフトテニス選手権大会に出場することになりました。大会は、春休みに三重県四日市市で開催される予定です。

【お知らせ】

事務補として勤務していた高島千絵が二学期末をもって、都合により退職しましたのでお知らせいたします。

保護者の皆様にはたいへんお世話になり、誠にありがとうございました。

《二中学生の活躍》

- 県下小・中学校音楽祭（創作）
銀賞 鮎澤 和佳（1年）
奈良坂憲芳（3年）
学校賞 須賀川二中
- 福島県中学生柔道錬成大会
男子団体 2位
- ソフトテニスウィンターリーグクリスマス研修会
男子団体 2位
女子団体 優勝
- ルーセントカップ東北中学校ソフトテニスインドア大会
男子団体 3位（全国出場）
- 県南中学校選抜卓球交流大会
女子団体 3位

始業式の中で各学年の代表による発表がありました。以下その内容を紹介します。

冬休みの生活と3学期に向けて

3年 小山 純晴

約2週間の冬休みも昨日で幕を閉じ、今日から3学期が始まります。3年生にとっては高校受験に向け、より一層追い込んでいかなければならない時期です。僕はこの3学期を有意義に過ごすため、勉強面、生活面で次の目標を作りました。まずは勉強面です。これまで僕は、内容の薄い勉強を長々と行うことがありました。間違えた問題を解きっぱなしにしたり、わからないものをわからないままにしまったり、「勉強」ではなく、ただの「作業」になることがありました。3学期は内容をもっと充実したいと思います。例えば、間違えてしまった問題の答えだけをただ覚えるのではなく、なぜ間違えてしまったのか、どうすれば同じような問題が出たとき、解けるのかを考え、一度だけで終わってしまうのではなく、何度も繰り返し演習し、効率の良い勉強を心掛けたいです。もちろん、これまで以上に1、2年の復習も欠かさず行いたいです。次に生活面です。高校受験や卒業までの日数も残りわずかとなっていき、一日一日の過ごし方がとても大切になっています。もし、3学期で大きな失敗をしても、今までのように「来学期は頑張りたい」「来年こそ頑張りたい」と言うことができません。後悔したまま中学校が終わってしまいます。確かに、失敗はどんな物事にもつきものなのかもしれませんが、卒業しても後悔が残ることなく、充実した3学期だったと心から思えるように、1日の時間の使い方を見直しつつ、過ごしていきたいです。3学期、1、2年生は次の学年に向け、私たち3年生は志望校合格、そして次なる高校生活に向け、準備をしなければなりません。だからこそ、さまざまなことに感謝をしなければならないと思います。今まで育ててくれた家族や、授業をしてくださった先生方、競い合い支え合ってきた友達、すべての人に感謝をしましょう。そして、一生で一度しかない中学校の卒業式を3年生全員ですばらしいものにするために、一人一人が頑張っていきたいと思います。

2学期の反省と3学期の抱負

1年 薄井 彩花

私の2学期の反省と3学期の抱負はそれぞれ2つずつあります。まず、2学期の反省の1つめは、学習についてです。特に英語では、単語を覚えること。数学では方程式や比例と反比例が全くできませんでした。2つめは二中のスローガンにあるあいさつについてのことです。私は、後期から週番部で活動を行っています。朝にみんなのお手本となるあいさつをしなければなりません。それなのに、私のあいさつの声が小さければ、言っていることとやっていることが違うと言われてしまいます。ですから私は、大きな声でのあいさつに心掛けます。次に2学期の抱負についてです。まず1つめは、2学期の反省でもあげましたが学習についてです。不得意な数学や英語はもちろんですが、私自身、国語も理科も社会も得意ではありません。だからこそ普段からもっと授業を聞いて理解していきたいと考えています。2つめは、責任を持つということです。私は後期学級副委員長をやらせてもらっています。相手に対する言動や仕事に対する責任がないと信頼がなくなると思います。3学期は自分が発した言動によって、相手はどう受け取るのかということ、そしてその人の気持ちをよく考えて行動したいと思っています。(一部省略)

冬休みの反省と3学期の抱負

2年 林 佑真

僕の今年の冬休みは、自分自身をもう一度見つめ直すことができたよい18日間でした。そして、見つめ直した中で2つの反省点が出ました。1つめは、学習についてです。この冬休みでは、苦手分野のドリルや過去問のテスト、学年の取り組みとしてスタディプロジェクトの1,2年生の復習などに、集中して取り組みました。その結果、高得点を取ることができるようになりました。3学期も、これを続けて単元テストや期末テストで高得点がとれるようにつねに頑張りたいです。次に2つめは、部活動についてです。この冬休みでは、8回の練習があり、そのうち2回は白河高校と須賀川桐陽高校の生徒達との練習試合がありました。その中でも、ポジショニングやパスのコントロールの悪さなど、いくつかの反省点が見つかりました。しかし、自分はその反省を生かした練習ができず、練習時間を無駄にしてしまった日がありました。だからこそ、この3学期ではもう一度自分を見直して反省点を意識した練習をし、レギュラー入りや県大会出場を目標に頑張りたいです。この冬休みは、勉強する時間や今までの自分を見つめ直す機会がありました。じっくりと考えた自分の反省点をこれからの自分に生かして、最後の中体連や高校受験に向けての準備をしっかりとしていきたいです。

◆今年が酉年！(諸説ある中から)

今年の干支は酉年ですが、鳥といってもたくさんの種類がいます。実は一番身近な鶏なのです。もともと鶏は食用がメインではなく、朝の時間を告げてくれる「時告げ鳥」として重宝されていたようです。鶏は太陽が昇ると鳴き、その鳴き声には太陽の神を呼ぶ力があると伝えられていたのです。

また、こんな話もあります。十二支には動物があてられています。元旦に神様のところに到着した順番で決められたとされています。この時には猫もいたと言われていたのですが、猫はネズミに騙されて到着する日を「元旦の次の日」だと一日遅れた日を教えられたのです。猫が到着した頃には誰もいなくて、騙されたことに気がついたのです。怒った猫はそこからネズミを追いかけようになったそうです。

また、「犬猿の仲」という言葉もありますが、仲の悪い猿と犬の間に入って喧嘩を仲裁したのが「酉」ということとも言われています。

☆☆☆こころの窓☆☆☆

「一陽来復」とは、寒い冬のあとに春がくるように、悪いことが続いたのちに良いことがくる。という意味があります。また、坂道は上りと下りの数は同じであり、苦難のあとには良いことが、良いことのあとには苦難が待っているなど、人生によく例えられます。今が良い状態であれば油断することなく、苦難の状態であればその中で学び、明るい陽ざしを信じて歩みたいものです。機関誌「PHP」からの一篇を紹介いたします。

一陽来復

広い世の中、長い人生、いつも心楽しいことばかりではない。何の苦勞もなく何に心配もなく、ただ凡々と泰平を楽しめれば、これはこれでもことに結構なことであるけれど、なかなかそうは事が運ばない。時には悲嘆にくれ、絶体絶命、思案にあまる窮境に立つこともしばしばあるであろう。

しかし、それもまたよし。悲嘆の中から、人は初めて人生の深さを知り、窮境に立って、初めて世間の味わいを学びとることができるのである。

頭で知ること大事だが、身をもって知ることが何よりも大事。塩の辛さはなめてみて初めてわかる。知ることにも、いろいろあるのである。

窮境に立つということは、身をもって知る尊いチャンスではあるまいか。得難い体得の機会ではあるまいか。そう考えれば、苦しい中にも勇気が出る。元気が出る。思い直した心の中に新しい知恵がわいてくる。そして、禍転じて福となす、つまり一陽来復、暗雲に一筋の陽がさし込んで、再び春を迎える力強い再出発への道がひらけてくると思うのである。